

※一部非公開

令和3年度入学試験問題（後期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（国際的思考系）

（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の英文はネット版 BBC の記事「Is cultural knowledge more important than language skills?」からの抜粋を元に一部編集したものです。この英文を読んで設問に答え、解答用紙に記入してください。下線のついた単語やフレーズには文末に注があります。

非公開

非公開

(出典) BBC, May 19, 2018, Is cultural knowledge more important than language skills?
<https://www.bbc.com/worklife/article/20180518-is-cultural-knowledge-more-important-than-language-skills>

<注>

注 01. globalized グローバル化する

注 02. immerse 浸す

注 03. fluency 流暢さ

注 04. socialization norm 社会化規範

注 05. similarity 相似・類似（点）

注 06. verbal and nonverbal 言葉を用いたあるいは言葉を用いない

注 07. persevere 辛抱する・屈せずにより通す

注 08. expat 国外在住の人

注 09. multinational 多国籍の・多国間の

注 10. codes of conduct 行動綱領・おきて

注 11. etiquette エチケット・礼儀作法

注 12. saving face メンツを保つ

注 13. politeness 礼儀正しさ

注 14. punctuality 時間厳守

注 15. sensitivity 感じ易さ・敏感さ・感受性

注 16. stereotype 典型・定型・ステレオタイプ

注 17. culturally fluent 文化的に流暢な

設問 1. 英文の内容を 300 字以上 400 字以内の日本語で要約しなさい。

設問 2. 社会のグローバル化に伴い、母国以外の土地で仕事や生活をするという選択をする人も増えています。母国以外で生活する人を受け入れる側にとって大切なことは何だと思えますか。英文の内容を踏まえつつ、700 字以上 800 字以内の日本語で述べなさい。

令和3年度入学試験問題（後期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（国際的思考系）

（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この問題は、本学部の掲げる3つのアドミッションポリシーの中でも「21世紀型市民として必要な学術的教養を身につける意欲」「他者や異文化の持つ多様な価値観に対して柔軟な態度」など、特に国際的な思考に関わる能力を測ることを意図している。グローバル化の進行する今日の社会で活躍するにあたり、外国語運用能力よりも異文化社会への理解や適応が大切であるとする英文を題材として提示し、それに関する設問に日本語で答える形式とした。英文を読解して趣旨を正しく要約できる語学力と、与えられたトピックに対して自分の意見を理論的に論述する力を測る。